

第1回 多摩めぐり

日原とつながる路が映す歴史、営み、
そして日原鍾乳洞と倉沢のヒノキ



2018

3 / 3 1 (土)



街道脇の登山道標示

奥多摩町の西北端、山あいにある日原地区。古来、この地に住む人々の祖先は、県境に聳える峰々を越えて秩父から移り住んだという。秩父道は、今日でも、登山者に険しい顔を見せる。

日原の地は、太古の海に息づいた生き物の化石が元となる石灰岩を含む。日原街道の終点に位置し、石灰岩の中に現れた日原鍾乳洞。この鍾乳洞が見せる美しくも妖しい様々な造形は、古来より多くの信者に崇められた一石山大権現の手によるものか。生活用水の確保のために村人が苦労して作った水道、万寿の水。手に取った柄杓に感ずるものは何か。

自動車道が整備されていない時代、日原の人々は荷を背負って尾根を越え、街道の起点となる氷川へ行商に出かけた。街道沿の高地に、凜として聳え立つ倉沢の千年ヒノキは、街道を往来する人々の無事を静かに見守っていたのだろう。



万寿の水の解説

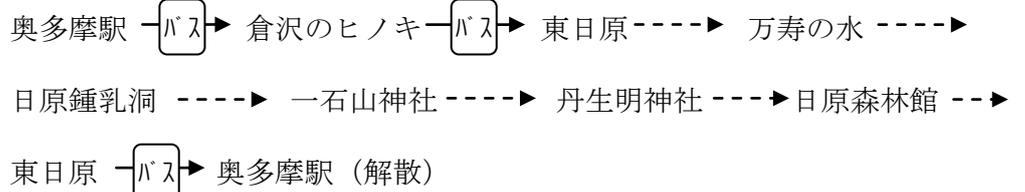


日原鍾乳洞新洞の
白衣観音



奥多摩町氷川の日原
街道入口交差点

—コース—



・ 集合日時 2018年3月31日(土) 午前9時00分(時間厳守)

・ 集合場所 JR青梅線奥多摩駅改札前

・ 講師 日原自治会長 黒沢正直さん(日原森林館にてトーク)

・ ガイド 相山誉夫、丹野雅之、須永俊夫、味藤圭司

・ 費用 参加費1000円(資料代、傷害保険料など)、入場料800円
 (日原鍾乳洞600円・日原森林館200円)計1800円
 <別途バス代3回乗車の920円各自負担>

・ 募集人員 30人(先着順)

・ 持ち物 弁当(麺類を出す食堂あり)、筆記具、雨具、飲み物

* 倉沢のヒノキへの登り、下り(山道、標高差約100m)があります。
 靴底が厚めの靴をお勧めします。

・ 申し込み方法

名前、年齢、住所、電話番号を明記し
 Eメールで「多摩めぐりの会」事務局へ

・ 申し込み先と問い合わせ

「多摩めぐりの会」事務局
 Eメール: tama.meguri@gmail.com

申し込み締め切り 3月19日(月)

* 当日の連絡先

090-7630-0195 (関根)

予告

次回は「滝山城址」を予定しています。